

御書通読フォーム画面

各部の構成	
①	「書き出し」ボタン
②	「切替」ボタン
③	現在データ表示欄
④	御書通読欄

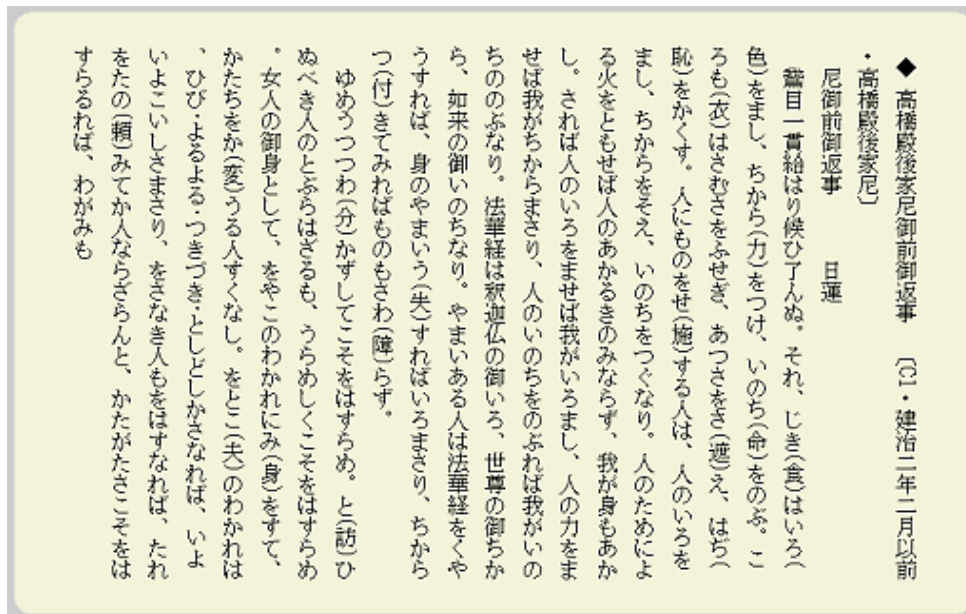
御書通読フォーム画面では、御書を読むのに便利なように配慮して表示しています。


横書きのフォーム画面も用意しています。横書きフォームも、操作はほぼ同じです。

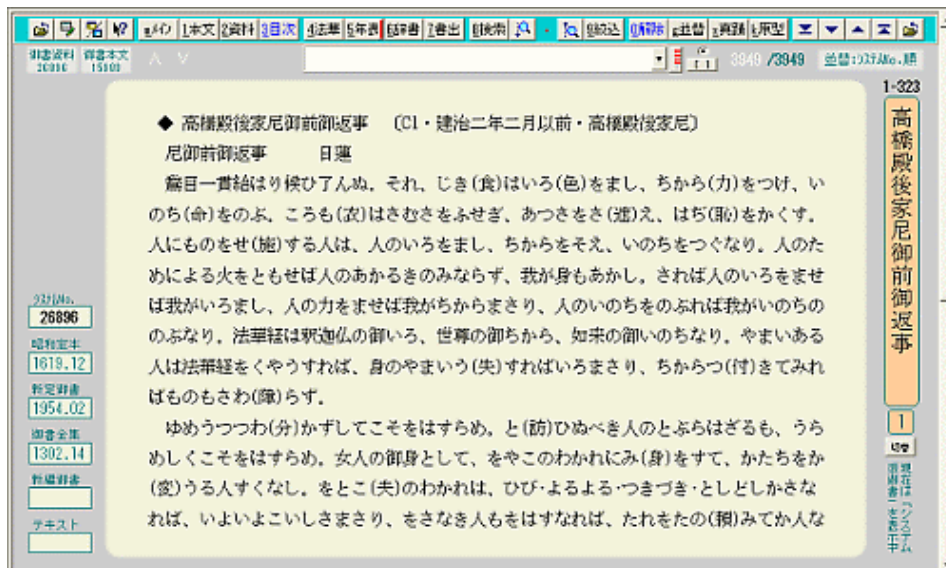
《御書通読フォーム画面専用機能》

- ① **書き出し** (書き出し)ボタン …… 御書を書き出すときに使います。現在表示の御書一編の書き出しか、全御書(絞込状態の場合は絞り込んだ御書のみ)の書き出しが選べます。
- ② **切替** (切替)ボタン …… システム版御書と原型活用データの表示を切り替えます。(上部 **原型** **システム** ボタンも同機能です)
- ③ **現在データ表示欄** …… 御書通読欄に表示されているのが何れのデータであることを表示します。

④御書通読欄……御書拝読に便利のように、画面を広く取ってあります。



※御書通読には、横書きフォーム画面も用意されています。(フォームの切替は、をクリックします)



御書通読(横書き)フォーム画面

《御書通読フォーム画面への移動》

御書通読フォーム画面への移動は、メインメニューの **3. 御書通読**、または **3通読** のある各フォーム画面上から、それらをクリックして移動します。

《「御書本文」にリンク》

表示が [システム版御書] でも [原型活用] でも任意の箇所をドラッグして **1本文** をクリックすれば、ドラッグした御書の位置の「御書本文」フォーム画面にリンクします。ドラッグしないで **1本文** をクリックするとその頁の文頭の「御書本文」フォーム画面にリンクします。

《「真蹟画像」にリンク》

[真蹟](#)が黒文字のとき、上記と同様にドラッグして[真蹟](#)をクリックすれば、ドラッグした御書の位置の「真蹟画像」にリンクします。ボタンの状態が[真蹟](#)のときは真蹟がありません。

なお、C=2の御書の場合、その箇所⁴に真蹟の断片が現存すれば、ボタンは[真蹟](#)となり、「真蹟画像」は表示されますが、無ければボタンは[真蹟](#)となり、真蹟は表示されません。(現在は使えません)

《「法華経」にリンク》

同様に法華経引用箇所をドラッグして[法華](#)をクリックすれば、該当の経文がある「法華経」フォーム画面にリンクします。さらに[法華](#)をクリックすれば、「法華通読」フォーム画面になります。

《御書通読フォーム画面での検索・絞込》

御書通読フォーム画面での検索・絞込の詳細は、現在表示の御書本文が[システム版御書]なら[システム版御書]が、[原型活用]なら[原型活用]が対象になります。

本文以外(システムNo.とか御書番号とか遺文集頁行)の検索・絞り込みは、ほぼ「御書本文」フォーム画面と同様です。

[「主な機能別使い方\(調べる\)」→「C、御書の一文を探し出す」](#)

をご参照ください。

※[システム版御書]の改行について

[システム版御書]表示の場合、ディスプレイ上での通読をし易くするために、適宜に改行してあります。

十分に聖意を考慮し、科段を意識しての改行ではありませんので、予めご了承ください。

[▲このページの先頭に戻る](#)

[戻る\(御書資料\)](#) [画面選択](#) [次へ\(法華経\)](#)